

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

敬称略

私の家内は雄和町生まれ

(旧川添村)です。村から町、そして市へ昇格する平成十七年一月十一日を楽しみにしています。住所に「川添」が入るのを期待しているようです(越後谷金雄 71歳・土崎港)

あきたノスタルジーの昔の昼食風景を見て、今の子ども(私も含めて)はぜいたくになつたように感じました(小椋雄介 19歳・東通)

あきたノスタルジーに目を馳せて、思わず過ぎし自分に重ねて見ました。私たちも嫁の時代は、まったくこの様なものだったと振り返りました。そのときの子どもたちも、今は当時の私の年を越え、「あなたたちも同じ様に育つた」と言つと、不思議そうな顔をして見つめている姿に、世の移り変わりを感じます(下藤テイ 69歳・飯島)

私の住んでいるところにも十月一日、秋田大橋からの新しい道路が開通して、とても良くなってありがたいです(鎌田チヨ 85歳・茨島)

明德館開館二十周年に行つてきました。自分の学区の過去の文集を手にとって見て、先輩たちの活躍の多さに今さらながら驚きました。伝統ある中学での時間の使い方を大切にしていきたいと思ひました(渡辺未聖 13歳・手形山)

一歳四か月の娘を、動物園に連れて行つたところ、大喜びでした。私たちの子どももころと大きく変わった動物園は大人でも十分楽しめるものでした。動物園から帰つた後、娘は「パオーン」という、ぞうさんの物まねをしていました(伊藤ひとみ 27歳・牛島)

町内の老人会で「歌つて健康に」をテーマに、サークルを発足。月二回二時間、指導者のもとで、ヘタでもみんなと一緒にだと怖くないので歌っています(相場けい 74歳・牛島)

私たちの小さい頃は毎朝釜でご飯を炊いたものでした。その時は必ずおこげができたものです。母は子どもたちのだ円形のホカホカおにぎりをつくり、塩をまぶして食べさせ

地域の話 おしえて!!

大住・牛島・上北手の小中学生が合同クリーンアップ みんなでやれば、街の掃除もラクラク

10月10日、城南中学校の生徒と大住・牛島・上北手小学校の児童約930人が、3地区に分かれ学区内の清掃に取り組みました。

中学生は出身校に里帰り。各小学校に集合して、近くの太平川沿い、猿田川沿い、雄物川堤防付近のごみ拾いや草取りなどを行いました。草がボウボウだった道路脇も、子どもたちの数百本の手で、あっという間にきれいに。猿田川

では、川底に捨てられていた自転車2台も引き上げられました。

城南中学校の木村朝美先生は「地域の小中学生の交流の機会をつくり、地域に愛着を持ってもらおうと昨年から行っています。今年は思ったより街の中がきれいで、子どもたちも驚いていました。きれいだと感じたことで、ここを汚しちゃいけないと思ったようです」と話してくれました。



自転車は変わり果てた姿に



枯れ草を集めて道路脇をすっきり



おしゃべりかわらばん



エコ&クリーンウオークに参加した右から佐藤亜美さん、石郷岡舞さん、石郷岡唯さん

ゴールで拍手をもらい感動
旭川沿いの道路を、クリーンアップしながら歩きました。いっぱい歩いて疲れたけど、途中のチェックポイントでいろいろなイベントがあっっておもしろかった。ゴールした時、みんなに拍手されて、とっても感動しました。

地域の歴史を体感

豊岩の白華館跡まで散策しました。400年以上前、安東氏が居城していたという当時の話を聞き、とても勉強になりました。キノコや木の実を探すのも楽しいですが、地域の歴史を学びながら歩くのも、また楽しいものです。



西部公民館の秋の山歩き教室に参加した富野昭雄さん(新屋)



秋田市花だんコンクールで特別優秀賞を受賞した横森五丁目町内会の齋藤哲郎さん

町内を花でいっぱい
町内にある公園内の雑草地を耕し、花苗を植えました。草の根や石があって大変でしたが、町内で協力して植え続けたら、毎年花が増えてきました。これからは、公園以外の雑草地にも花を増やしていきたいです。

100人以上に狐のお化粧

通町で行われた招福狐の行列で、100人以上に狐のメイクをしてあげました。顔に筆を当てると泣いてしまう子どももいて大変だったけど、子狐たちはとにかくかわいくて、私たちも大満足の1日でした。コン!



後列左・菊池ももこさん、右・三浦睦美さん、前列左・塚本梨恵さん、右・佐藤千恵さん(美術工芸短大)



消防協力者表彰を受けた滝沢幸治さん(寺内)

重要です！初期消火
朝出かけようとして、隣家を見ると建物から火が！すぐに自宅から消火器を持ち出して消火。溶接関係の仕事をしていることもあり、燃えさかる火の前でも冷静に消火活動ができました。隣家の人も無事でなにより。



秋田県クリーニング生活衛生同業組合からリヤカーの寄付がありました。このリヤカーは、自主防災組織の防災用具として活用します。ありがとうございました。

せました。そのころは、「なんだこげ飯か」と思ったものですが、今になって思えば、ずいぶんおいしかったものだと懐かしく思います(玉尾勇78歳・千秋久保田町)
この間「まんたらめ」に見学に行ってきました。宿泊施設も子どもたちの大好きな屋根裏部屋のような二段ベッドで、夢がいっぱい広がるようでした。また、自炊棟やテントの張れるスペースなど、私のような年寄りでも宿泊してみたいと思いつつ、自然を満喫して帰ってきました(赤津テイ 69歳・泉)

係からひとこと
先日、全国広報広聴研究会(全国)の広報担当者が集まる勉強会)に出席するため、那覇市へ行ってきました。ちょうど台風が石垣島に上陸するころで、案の定、羽田から沖縄までの飛行機便が欠航。一日遅れで沖縄到着となりました。
二日間の滞在中、台風の直撃はまぬがれたものの、那覇市内は大荒れの天気。台風が熱帯低気圧になって通り過ぎた秋田とは大違いで、ある意味「沖縄らしさ」を満喫できたのかも。
「沖縄らしさ」といえば、戦後の焼け野原から復興した沖縄では、建物、食言葉、いずれもその伝統を大事にしています。私たちも「秋田らしさ」大事にしたいですね。(石塚)

広報クイズ



ハイッ！子狐のできあがり

9月26日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「平成17年1月11日」、問2が「ユキヒョウ」でした。

全問正解171通(応募総数175通)の中から、池内真人さん(南通宮田)、石塚幸子さん(泉中央二丁目)、石塚錦一さん(旭南一丁目)、男鹿谷正子さん(茨島七丁目)、小野慶子さん(牛島東三丁目)、後藤栄子さん(楢山金照町)、繁野修さん(金足下刈字北野)、塚田トクエさん(浜田字家後)、土谷穂子さん(飯島字田尻堰越)、奈良光子さん(外旭川字三後田)の10人のかたに図書券をお送りします。

10月の広報クイズは最終面です。よろしく!!

広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)